

ふじた

FUJITA

ご自由にお持ちください

No. 78

特集 医師と看護師をつなぐ
診療看護師(NP)
診療看護師(NP)について知ろう!
藤田医科大学病院 FNP の強み
FNP はこんなところで活躍中!
藤田医科大学病院で活躍する FNP ピックアップ
FUJITA News
Information



特
集

医師と看護師を つなぐ診療看護師 (NP)

診療看護師(NP: Nurse Practitioner)とは、看護を
礎に大学院で医学を学び、特定
行為などの診療行為を行うこと
ができる看護師のことです。一
部の国では数十年以上前から医
師と看護師の中間職種に位置す
るNPという制度があります。
日本では医師の働き方改革を
きっかけに2010年頃より日
本版NPの検討が開始され、こ
れまでに約990名が診療看護
師として資格認定されています。
当院では、2014年より診療
看護師の活動が開始され、現在
44名が藤田学園の様々な診療
科で活動しています。
診療看護師が診療の一部を担う
ことで、医師の業務負担改善に
つながるだけでなく、医師が不
在であっても、患者さんの病状
をタイムリーにとらえ、検査や
処置を行い、適切な説明を行う
ことで、円滑な医療の提供と医
療の質・安全性の向上を目指し
ています。

診療看護師(NP)は何?

診療看護師（NP）について知ろう！

看護師領域（看護師・特定看護師・診療看護師）の違いって何？

看護師の仕事には、「日常生活への支援」と、医師の包括的指示に基づいて行う「診療の補助」があります。特定看護師は、特定行為研修を修了した後、厚生労働省が定める21区分38行為内の特定行為を実施できる看護師です。

一方、診療看護師は、看護師、特定看護師の業務に加え、医師の指示のもと、特定行為には含まれない侵襲的処置や手術助手、検査のオーダーや評価、薬剤の入力などを行い、治療面にも積極的に関わっています。医療チームの一員として医師・看護師・他職種と協働して自律的に業務を遂行することで、患者さんのCare（支援）とCure（治療）の両面に携わっています。

診療看護師ってどんな仕事？ 医師と看護師の中間で活躍する存在

診療看護師の主な業務は、特定行為と相対的医行為があります。

特定行為とは、医師が事前に作成した手順書に基づきPICC（末梢留置型中心静脈カテーテル）※1の挿入や創部ドレイン※2の除去などの行為を指します。

相対的医行為とは、医師の直接指示に基づき、病歴聴取、身体診察、内服・点滴・検査の代行入力、手術助手や創傷処置（縫合・抜糸）など特定行為以外の医行為を指します。

診療看護師の業務は下記の図のように、医師しかできない絶対的医行為を除き医行為の一部を代行しながら、時には看護業務も行い患者さんの治療全般に関わっています。

※1 腕の静脈に挿入し、抗がん剤や高カロリー輸液の投与が必要な場合に用いられます。
※2 体内に溜まった血液、体液、膿などを体外に排出するために使用する管。

医師・診療看護師・特定看護師の業務

医師の業務

診療看護師の業務

特定看護師の業務

絶対的
医行為

医師の
直接指示による
相対的医行為

特定行為
21区分
38行為

一般の看護師が
行う看護ケア

図：各職種における業務範囲

藤田医科大学病院 FNP の強み

藤田医科大学病院 診療看護師（FNP：Fujita Health University Hospital Nurse Practitioner）は、医師と看護師の中間的な役割を担う存在で、看護師としての視点と医師の視点の両方をあわせ持ち、患者さんの体だけでなく心にも寄り添う医療を提供しています。外来や病棟、手術室といった幅広い現場で活躍し、診察の補助や検査・治療・手術の説明をわかりやすく行うことで、患者さんの不安を和らげます。また、患者さんの訴えや体調の変化にも素早く気づき、必要な対応を的確に行っています。医師や看護師、他の医療スタッフと連携しながら、患者さん一人ひとりに合わせた、きめ細やかで安心できる医療を支えるのが FNP の強みです。

責任者紹介



室長 稲葉 一樹 医師

★専門分野

私は食道・胃を専門とした消化器外科医師として、ロボット・腹腔鏡手術を中心とした医療を患者さんとそのご家族に安心して届けられるよう対話を大切にした診療を心掛けています。FNP 室長としては適切な医療に加えて安心と信頼が届けられるよう、FNP 室の仲間が「日々誇りをもって働ける」職場環境の整備に努めています。

★患者さんへのひとこと

FNP 室の仲間は、医師と共に診療業務を行う大切な存在です。診療情報を医師と日々共有するとともに、厚生労働省が定めた特定行為をはじめとした診療行為を行うことができます。仮に医師が不在だったとしても、適切な医療を素早く届けられるように修練されています。病院では医師からの説明がよくわからないことがあるかもしれませんがそうした際にも身近にいるFNPを頼ってください。きっとあなたのお力になれると考えています。

FNP 長 永谷 ますみ さん

★専門分野

FNP 一期生として活動を開始し、今年で 12 年目を迎えました。専門は心臓外科で、術前・術後の患者さんの治療に医師と協力しながら従事してきました。今年度より FNP 長を拝命し、臨床業務に加え、FNP 室のマネジメントにも力を注いでいます。チームの成長とともに、より良い医療環境を築いていけるよう努めています。

★患者さんへのひとこと

安心して医療を受けられる環境を整えるため、働き方改革を推進し、チーム医療を軸に多職種と連携しながら、質の高い医療の提供を目指しています。患者さんの気持ちに寄り添い、それぞれのニーズに応じた適切なケアを届けることができるよう、日々努めています。FNP 長として、そしてスタッフとして、医療現場の改善に尽力し、より持続可能で柔軟な医療体制を築いていきます。



専門領域

藤田医科大学保健衛生学部看護学科講師、診療看護師と二つの責務を担っています。現在は救急科にて臨床経験を積み一方で、看護学科の大学生、診療看護師を目指す大学院生、さらには特定行為研修を受講している看護師を対象に、教育活動を行っています。

藤田医科大学 保健衛生学部 看護学科での教育支援

教育支援では、年齢で言えば18歳から50代まで、多様な背景を持つ学生に対して、それぞれの理解力やニーズを的確に把握し、相手に届く教育をどう設計・実行するかを考え、向き合っています。また、私は教員経験が乏しく、できることは限られていますが、各々に応じた学習環境を整え、活発な考えや発言が可能な教育支援ができるようこれからも努めていきます。



救急科・看護学科講師
松田 奈々 さん



救急科で多職種連携

救急科では、患者さんの経過をプレホスピタル※1から退院までシームレスに関わることができます。その過程では、他科医師をはじめ、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、看護師・リハビリスタッフなど、多くの職種と連携する場面が生じます。私は継続的な治療と看護の視点を持つ診療看護師だからこそ、多職種と連携する際に本領を発揮すると考えています。

※1 病院に搬送されるまでの間に行われる救急処置。

救急科 船曳 知弘 教授

FNPは単に特定行為がたくさんできるというわけではなく、患者さんの状態を評価し、対応する能力を備える必要があります。特に救急科の外傷患者は日々病態が変化し、時にそれが急激で生命に関わる場合があります。松田さんは、まさにこれが身につき実践できており、安心して任せられる存在です。



保健衛生学部 看護学科 世古 留美 学科長

松田さんは学内のいろんなところで学生や教員と話をしている姿を見かけます。自主学修をしている学生にやさしく声がけし、学生が理解しにくいこともわかりやすく教えてくれます。患者さんと同じように学生一人ひとりの様子を観察してくれています。臨床と大学教員、そして研究を両立させることは容易ではないと思いますが、その努力を感じさせないところが素晴らしいです。



専門領域

整形外科専属の診療看護師として病棟管理や手術助手を中心に活動しています。整形外科は手術も多く大変な診療科ですが、多忙な医師だけでは手の届きにくい、隙間を埋められる存在になるべく日々奮闘しています。

患者さんの身体診察

病棟では主に患者さんの状態管理を行っています。手術後には様々な合併症が起こる可能性があります。それにいち早く気が付き、医師に相談のもと対応することが私の命題です。私一人では多くの患者さんの情報を把握することは難しいため、病棟の看護師と協力し、日々病棟管理に務めています。昨今では高齢化社会に伴い、整形外科でも入院する患者さんが持病を抱えている場合も少なくありません。入院期間中にそれらが増悪する場合もあります。その際は他の診療科医師と相談し、対応をすることもあります。



整形外科
笠井 貴史 さん



手術室での助手、調整役

手術室では基本的に手術助手として介入します。主に手術時の姿勢の作成、ドレーピング※2、手術野の展開、止血、創部閉鎖に関わります。手術によっては移植骨の作成やインプラントの準備、手術時の足の姿勢の調整などを行います。医師や手術室の看護師、診療放射線技師と協働しながら円滑に手術が進むよう務めています。また手術前の点滴ルート確保に難渋する時はエコーを用いてルートを確認するなど、手術が予定通りに始められるようサポートも行っています。

※2 滅菌されたドレープ(布)で患者さんの身体の一部を覆うこと



整形外科 藤田 順之 教授

整形外科 / 脊椎外科では手術件数が多く、看護師が病棟のことで主治医に連絡しても手術に入っていて迅速に対応できないことが少なくありませんでした。2024年度から2名のFNPが入ってくれたことによって、彼らが看護師と医師の懸け橋となり、何よりも病棟管理のレベルが向上したことを実感しています。



藤田医科大学病院で活躍する FNP ピックアップ!!

いつでも
FNP に
お声掛け
ください!

★FNP を目指したきっかけ

私は医師が少ない地域の病院で勤務する中、医師が手術や他の業務で対応できず、患者さんの苦痛が長引いてしまう場面に何度も立ち会い、無力感やもどかしさを感じてきました。そのような状況でも、タイムリーに治療に関与し、医学と看護学の視点を生かして医療を提供できる診療看護師という職に大きな魅力を感じました。当院にはFNPの先輩方が多く在籍しています。幅広い診療科で活躍する先輩FNPをはじめ、医師からも実践的に学ぶことができる環境が整っているため、ここで経験を積みたいと考え、診療看護師を志しました。



ローテーター

河良 香澄 さん

★患者さんへのひとこと

診療看護師は、まだまだ世間ではあまり知られていない職種ですが、医学と看護学の知識を活かして、患者さんに適切な医療を適切なタイミングで提供する重要な役割を担っています。私は現在、ローテーターとして様々な診療科で研修を受けながら、知識と技術の向上に努めています。聞き馴染みのない職種かもしれませんが、将来的には先輩 FNP のように専門性を持ち、皆さんに安心できる医療を届けられる存在を目指しています。

★FNP を目指したきっかけ

かつての ICU での勤務経験から普段の業務において日常診療や医療介入、それらの根拠をより深く学びたい、スキルアップして看護及び臨床に活かしたいと思い大学院進学を決意しました。そして麻酔科実習において全身管理を学ぶ楽しさをより実感したことが当院就職へのきっかけとなりました。また、当院の研修プログラムは診療科が多岐にわたっており、研修体制が整っていることも魅力の一つでもありました。



麻酔科

塩沢 亜依美 さん

★患者さんへのひとこと

診療看護師は医師の業務の一部を担っており、かつて医師が行ってきた業務を診療看護師が実施することに戸惑うこともあると思います。当院の診療看護師は大学院に入学し、これまでの看護師経験を踏まえ、医学的知識・技術を身につけています。普段業務に忙しい医師に相談したくてもできない、聞きたくても聞けない等、ある時は診療看護師が患者さんをサポートします。

★FNP を目指したきっかけ

看護師として働いていた頃、患者さんの些細な変化にいち早く気付いても自分だけで対応するには困難な場面もあり、医師の指示を待たなければならぬことが多くありました。しかし患者さんの病態は刻一刻と変化していきます。そのようなもどかしさを感じる日々の中で、「もし自分により深い医学的知識と診療技術があれば」と強く思うようになりました。患者さんに最も近い存在として、異常の早期発見、医師の診療をより理解して判断・行動できる存在になりたいと考え、診療の一端を担うことができ医療を支える診療看護師を志しました。



救急科

堀田 智 さん

★患者さんへのひとこと

病院外などの現場で患者さんに関わる、ドクターヘリやドクターカーにも搭乗しています。日々、専門的な知識と技術を磨きながら、全身状態を的確に評価し、医師と協働して迅速かつ適切な医療・看護ができるように努めています。患者さんにとっての最善を考え、安心して治療に臨めるように全力でサポートします。これからも頼られる診療看護師として成長していきたいと思っています。

★FNP を目指したきっかけ

私は手術室で看護師として 6 年間勤務した後、大学院に入学し、診療看護師の資格を取得しました。手術室では、麻酔科や外科の医師が常にそばにいる環境で、患者さんに何かあった際、自分ではなく医師に頼ってしまう状況に歯がゆさを感じていました。自らの知識や技術を患者さんのために直接役立てたいと思い、スキルアップを目指して進学を決意しました。また、看護師は通常一つの部署で活動しますが、診療看護師は外来、病棟、手術室など複数の場面で活躍できる点にも魅力を感じました。



呼吸器外科

吉野 琢人 さん

★患者さんへのひとこと

診療看護師は、大学院で医学的な知識と技術を学んだ看護師です。外来・病棟・手術室など、特定の部署にとどまらず、診療の各段階で患者さんと継続的に関わっています。ベースは看護師であり、こうした立場だからこそ、より身近に、患者さんの気持ちに寄り添った支援ができると考えています。

第13回



STAFF 紹介

ALL FUJITA

放射線部
診療放射線技師
福場 崇 さん
(勤続31年)



MRI検査室では、MRI装置の操作だけでなく、磁場や電波による事故防止対策、患者さんに適切な画像を提供するための撮像プロトコルの作成、円滑な業務運用のために予約の管理、学会への研究発表など、業務は多岐にわたっていますが、スタッフが一人としてMRI検査業務に取り組んでいます。私自身は裏方の業務が多く、1日中検査業務につくことも少なくなりましたが、若手スタッフをサポートし、活気あるMRI検査室を目指しています。

元気の源のご飯は辛いもの全般です。元々は辛いものが特に好きということではなかったのですが、ばんだね病院に勤務していた頃に、若いスタッフと辛くて美味しいものを食べるクラブを結成して、辛いものを食べ歩いてるうちにすっかり辛党になってしまいました。今はとにかく辛いものが好きで、何にでも辛みを足したくなってしまう。我が家の冷蔵庫には辛い調味料が完備されています。
(某韓国の激辛ソースがおすすめです。)

看護部 看護師
富田 陽子 さん

放射線部 診療放射線技師
福場 崇 さん
からの紹介で、

福場さんの
おすすめ調味料!

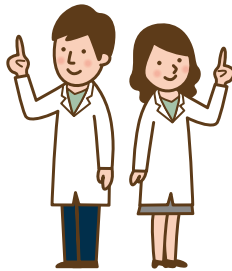


我が家はシルバーとレッドの2匹のティーカップブードルを飼っています。これが可愛すぎて、リビングで走り回っている姿を見ただけでも本当に癒されます。仕事から帰ると車のエンジン音で帰ってきたのがわかるようで、リビングの入り口で熱烈な歓迎で迎えられてもらえると仕事の疲れも吹き飛びます。

2025年度新入職研修医の臨床研修が始まりました

藤田医科大学病院では、2025年度も34名の初期臨床研修医が入職し、経験豊かな指導医のもと外来・病棟にて診療を行っております。今後2年間に亘って研鑽を積み、当院臨床研修理念に合う良医になるべく邁進してまいります。

これからの医療を担う医師養成のため、引き続き地域の皆様のご理解とご協力を賜れますと幸いです。



臨床研修理念

医師としての基礎形成期に、適切な指導体制の下で人格を涵養し、幅広い基本的診療能力を身に付け、片時も自己に驕ることなく全人的なチーム医療ができるようになる。

基本方針

1. 医師として高い倫理観・責任感を持って行動できる。
2. 常に医学の研鑽と学習に励むことができる。
3. 患者や家族の立場にたった考え方ができる。
4. 多職種によるチーム医療を担える。
5. 一般的な疾病の診療ができる。
6. 上級医の指導下で急性疾患への初期対応ができる。

藤田医科大学病院

本学が映画『フロントライン』に実名で登場

2020年2月、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」号で発生した日本で初めての新型コロナウイルスによる集団感染に立ち向かった災害派遣医療チーム(DMAT)の葛藤と奮闘を、事実に基づいて描いた作品です。藤田学園は政府からの要請を受け、乗客乗員128名を開院前の岡崎医療センターで受け入れることを決断。本院から多くの職員を岡崎へ派遣しました。作品製作にあたり本学は、当時対応した医師のインタビューや撮影現場の下見対応、資料提供などの形で協力。作中でも大学名が実名で登場しています。



©2025「フロントライン」製作委員会

24時間いつでも聴けます! 毎月第1・3水曜日新プログラム
YouTubeで配信中!!

院内ラジオ フジタイム

検索

無料



藤田医科大学病院が配信している院内ラジオ「フジタイム」は、医師や看護師、教職員、藤田医科大学の大学生がボランティアとして携わっています。フジタイムでは、最新の医療情報のインタビューや朗読、ホスピタルコンサートの演奏など多彩な企画を通して患者さんへ癒しをお届けしています。ぜひ、お聴きください♪

127回 がん専門薬剤師
藤井主任が
出演!

学生時代から化学が好きだった影響で薬剤師となった藤井主任。がん専門薬剤師として日々、患者さんに直結する重要なお仕事やりがいなどをお話しています。



128回 こども病棟 看護師
末富主任が
出演!

入職してから現在までこども病棟での看護に携わってきた末富主任。小児看護に強い想いが生まれた実習でのエピソードや、普段の子どもたちとその家族に対する接し方などをお話しています。



129回 こども病棟 保育士
服部さんが
出演!

こども病棟で業務にあたる服部保育士。看護師と連携し、子どもたちの不安を取り除くため、がんばりカードやイラスト付き模型など、病棟で工夫されていることをお話しています。



130回 移植・再生医学
伊藤 泰平教授が
出演!

移植医療を行う移植・再生医学。2024年10月に1型糖尿病患者さんに対して低侵襲な移植である「膵島移植」を実施。患者さんを元気にする外科治療に関わる伊藤教授のお話です。



131回 院内学級(愛知県立大府特別支援学校)
藤原先生が出演!

病気や怪我で入院中の子どもたちに学習をサポートする院内学級。院内に学校があることはご存じでしょうか? 小学生から高校生の学習や交流を支援する教諭の藤原さんのお話です。



Information 01

医療のあらゆる場面で患者さんとチームの懸け橋へ

Fujitaで NPになりませんか

今まで以上に医療を担えるスキルを身に付けたい。
より良い医療を提供する職場でNPとして輝きたい。

Fujitaには、そんなあなたの熱意に応える
学びの場、活躍の場があります。



藤田医科大学大学院
藤田医科大学病院

入学・見学に関する
お問い合わせ先

藤田医科大学 保健衛生学部
HP: <https://np.fujitahu-nptx.com>
TEL: 0562-93-2000 (代表)



診療看護師に関する
お問い合わせ先

藤田医科大学病院 FNP室
HP: <https://www.department-of-fnp.com>
TEL: 0562-9343-2111 (内線9275)
E-mail: fnp.fujita.info@gmail.com



野菜をたくさん食べよう!!

今回使用した野菜はβカロテン、ビタミンC、ビタミンE等の抗酸化作用のあるビタミンが豊富で、夏に気になる紫外線等による肌トラブルや生活習慣病の予防、免疫力向上等が期待できます。また今回のレシピでは、野菜を素揚げにすることで脂溶性ビタミンであるβカロテンやビタミンEの吸収率をアップさせる効果もあります。野菜をたくさん食べて暑い夏を乗り切りましょう。

／ 食養部が提案する ／

RECIPE 031

野菜たっぷりスープカレー



1人分 706kcal

おおよその栄養価 (1人分)

たんぱく質30.2g
脂質34.6g
塩分3.7g
βカロテン3572μg
ビタミンC66mg
ビタミンE5.8mg
食物繊維9.2g

過去のレシピは藤田医科大学病院の
LINE公式アカウントでご覧いただけます！

友だち追加はこちら ▶



材料 (2人分)

鶏手羽元 4本(240g)
カレー粉 小さじ2
塩 小さじ1/3
黒こしょう 少々
サラダ油(鶏手羽元用) 小さじ1強
玉ねぎ 1/2個
にんじん 小1本
なす 1/2本
かぼちゃ 50g
ズッキーニ 1/2本
オクラ 2本
パプリカ赤 1/4個
パプリカ黄 1/4個
ヤングコーン 2本
A [おろしにんにく 小さじ1
おろししょうが 小さじ1強
サラダ油(玉ねぎ用) 大さじ1弱
カレー粉 小さじ3
水 500ml
B [トマトジュース無塩 100ml
コンソメ顆粒 小さじ1
ウスターソース 小さじ1
塩 小さじ1/3
黒こしょう 少々
雑穀ごはん 300g
揚げ油 適量

作り方

①鶏手羽元は骨に沿って切り込みを入れ、下味をつけ20分ほどおいておく。
②玉ねぎはみじん切り、にんじんは2cmの乱切り、なすは縦に4～6等分、かぼちゃは5mm幅で6cm程度の薄切り、ズッキーニは7mm幅の輪切り、パプリカは縦に8等分に切る。オクラはガクとヘタを切り落とす。
③鶏手羽元用のサラダ油を熱し、①に焼き目をつけ、一度お皿に出しておく。
④鍋に玉ねぎ用のサラダ油を入れAを弱火で炒め、香りが立ったら玉ねぎを入れ、きつね色になるまで10分ほど炒める。にんじんを加え炒める。
⑤カレー粉を入れ弱火で粉気がなくなるまで炒め、水、B、③を入れ、蓋をして20分煮る。
⑥トッピング野菜(なす、かぼちゃ、ズッキーニ、オクラ、パプリカ、ヤングコーン)を水気をふきとり素揚げする。
⑦器に⑤を盛り付け野菜をトッピングする。
⑧別皿に雑穀ごはんを盛り付ける。

ワンポイントアドバイス

☆脂質が気になる方は、鶏肉や野菜をオープンで焼くことで油を減らすことができます。
管理栄養士：大竹奈菜美 調理師：那須恵美

こども病棟へ素敵な贈り物をいただきました

4月24日(木)に、子どもの治療に付き添う家族をサポートする滞在施設「ドナルド・マクドナルド・ハウス なごや」様から昨年に引き続き、こども病棟に入院中の子どもたちとご家族へ、素敵なギフトをいただきました。

開始前から部屋の前で楽しみに待っていた子どもたちは、ぬいぐるみやぬいえ、おもちゃなどのたくさんのギフトの中から好きなものを選び、ご家族にはアメニティなどが贈られ、笑顔や喜びの声が溢れる時間となりました。



災害に備えた太陽光発電サービスが 運転を開始しました

4月15日(火)、中部電力ミライズ㈱との協同プロジェクトである「カーポート一体型の太陽光発電設備」が藤田学園豊明校地の敷地に運転を開始いたしました。同設備は、「災害に強い病院」の実現に向けた活動の一環で、停電が発生した場合においても、病院機能の維持可能な期間を延伸するシステムとして全国の災害拠点病院に先駆けて運用されます。今後は豊明市が所有する濁池を活用した太陽光発電設備の運転にも着手し、2027年には藤田学園豊明校地が使用する電気使用量の約12%が太陽光発電由来となる見込みです。

